

公立病院経営改善事例等実務研究会(第1回)議事概要

1. 開催日時等

開催日時:平成21年6月29日(月)午後3時00分～5時00分

場所:スクワール麹町5階「百合」

出席者:五十嵐邦彦公認会計士、石黒久也(社)全国自治体病院協議会経営指導部長、茨常則日本医療文化化研究会主宰、海江田鉄男(株)川原経営総合センター取締役、富樫政夫(社)地域医療振興協会事務局長、富田一栄医療経営コンサルタント(税理士)、樋口幸一医療経営コンサルタント(公認会計士)、吉田秀一(株)日本経済研究所医療福祉部長、和田頼知監査法人トーマツパートナー(公認会計士)、依田智治厚生労働省医政局指導課係長、細田隆大臣官房審議官、濱田省司地域企業経営企画室長 他

2. 議題

- ・公立病院経営改善事例等調査・研究事業について
- ・公立病院経営改善事例等の選定などについて
- ・その他

3. 概要

当実務研究会の座長である細田隆大臣官房審議官からの挨拶の後、当委員の紹介がされ、事務局から当実務研究会の趣旨・目的及びスケジュールの説明がされた。

その後、事務局より公立病院経営改善事例等の選定病院や調査項目について説明がされ、委員との間で意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は次のとおりである。

1 経営改善事例選定について

- ・選定候補に自治体立優良病院表彰を受賞している公立病院を加えるべき。
- ・指定管理者制度導入公立病院は、利用料金制と代行制の双方を選定すべき。
- ・公的病院を加えてはどうか。

2 調査表について

- ・医療の質を高める観点の項目も必要ではないか。
- ・政策医療に対する繰出基準に関する項目が必要ではないか。
- ・病院が担い機能により建設費が異なる。建築事例調査表では病院の機能について記入してもらうべき。
- ・建物の構造について調べるべき。
- ・経営見通しと実績は病院建設前後の数年の経過を調べるべき。